

# みんなの広場



優勝し笑顔を見せる立花小学校Bチーム



パトリック戦の後、決勝トーナメント戦で競い合いました

## 『伊万里観光いろはかるた』市内小学生交流大会 かるたで育む郷土愛

市民センターで伊万里ロータリークラブ主催の『伊万里観光いろはかるた』市内小学校交流大会がありました。11回目となった今年はインフルエンザの流行で3校7チームが欠場。7校13チームの参加で熱戦が繰り広げられました。『世界にははたたく伊万里港』など郷土を題材にした札が読み上げられると、素早い動きで取り合っていました。



勝負は一瞬で決まります

## 伊万里の“いい職”説明会

### たくさんあります、元気な企業

就職を希望する高校生や大学生などに、地元での就職への理解を深めてもらうため、伊万里の“いい職”説明会が伊万里迎賓館でありました。優秀な地元の人材を求める市内22企業のブースが並んだ会場では、約90人の参加者が数人ずつのグループに分かれ、順次企業ブースを回りながら、1回7分間の説明を興味深そうに聞いていました。



↑ 真剣な表情で担当者の説明に聞き入る高校生

## 市防災講演会

### 備えあれば憂いなし

市民センターで市防災講演会がありました。熊本市中央区にある、黒髪校区第4町内自治会自主防災クラブ会長の交野富清かたの とみきよさんが、熊本地震での避難所設営の状況などを交えながら、自主防災組織の重要性について講演しました。また、市男女協働参画懇話会いまりプラザによる、男女協働の視点から防災を考える朗読劇もありました。



↑ 「自主防災組織は地域の要」と話す交野さん

### 国際交流ひろば

## さまざまな文化に慣れ親しみ理解を深めて

市国際交流協会が毎年開催している国際交流ひろばが生涯学習センターでありました。今年は、市内の小学校9校から40人が参加。佐賀大学に留学している4カ国（カンボジア、バングラデシュ、リトアニア、台湾）の学生6人が講師となり、自国の文化などを紹介した後、一緒にそれぞれの国のゲームをして交流を深めていました。



バングラデシュの遊び『目隠しゲーム』を楽しみました



2.18

↑ 児童からの質問にユーモアを交えて答えるカンボジアのイア キムセンさん（右）

### 大坪小学校6年生総合学習でマイエンザ作り

## 環境に優しいマイエンザで校内をきれいに

大坪小学校の6年生が、総合学習でマイエンザ作りに挑戦しました。マイエンザは、納豆やヨーグルトなどを原料に作る環境に優しい微生物活性酵素。環境浄化や日常生活の掃除など、幅広い用途に利用できます。この日作ったマイエンザを使い、6年間使った学舎に感謝を込めて、卒業する前に窓やトイレなどを掃除する予定です。



2.9

↑ 協力しあいながら楽しく作業

### 牧島小学校ドリームボード授業

## 未来の自分はこうなっているはず

子どもたちに夢を実現するイメージを強く持ってもらうと、一般社団法人日本ドリームボード財団が実施するドリームボード授業が、牧島小学校でありました。自分の将来像を表す画像などを、雑誌などから切り抜いて大きな台紙に貼り付けた5・6年生の児童。翌日のプレゼンテーションでは、ボードの上でたくさんの夢が実現していました。



1.18

感覚のままに選んだ画像をボードに貼り付けていきます



1.19

↑ ドリームボードで自分の将来の姿を説明する児童

### 市社会教育研究大会

## 地域づくりの拠点は公民館

『地域に求められる学びをつくる公民館活動』をテーマに、市社会教育研究大会が立花公民館でありました。始めに、島根県益田市教育委員会の大畑伸幸さんが、ひとつづりの環の大切さについて講演。続く実践発表では、各町（地区）での取り組みのうち、放課後子ども教室開催事業『立花っ子わいわい広場』など、3つの事業が紹介されました。



2.4

↑ 「子どもは地域で育てるもの」と力説する大畑さん